

# 福島県再生可能エネルギー導入推進連絡会 系統連系専門部会の設置について

平成 26 年 10 月 27 日

## 1 目的

東北電力は、太陽光発電等の急速な導入拡大に伴う系統設備の容量や需給調整力の限界等から、再生可能エネルギー発電設備の接続をこれ以上受け入れることが困難であるとし、平成 26 年 10 月 1 日以降の接続申込みへの回答保留を決定した。

東北電力による系統接続保留は、本県の再生可能エネルギー推進と産業復興の根幹を揺るがす極めて重大な問題であり、具体的な対策等を検討する場として、有識者による専門部会を設置し、国や東北電力に対する緊急提言を取りまとめることとする。

## 2 設置

福島県再生可能エネルギー導入推進連絡会の下に、「系統連系専門部会」を設置する。

## 3 委員（敬称略）

### 【部会長】

横山 隆一 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授

### 【委員】

一木 修 株式会社資源総合システム 代表取締役社長

大和田野 芳郎 独立行政法人産業技術総合研究所

福島再生可能エネルギー研究所 所長

斉藤 哲夫 一般社団法人日本風力発電協会 企画局長

佐藤 理夫 福島大学共生システム理工学類 教授

平沼 光 公益財団法人東京財団 研究員・政策プロデューサー

三保谷 明 イオスエンジニアリング&サービス株式会社 顧問

## 4 事務局

企画調整部エネルギー課

## 5 スケジュール（想定）

【第 1 回】平成 26 年 10 月 27 日（月）10：00～ 論点整理、自由討議

【第 2 回】11 月上旬 短期的な対策検討（接続保留の早期解除など）

【第 3 回】11 月中旬 中長期的な対策検討（電力系統の広域運用など）

【第 4 回】11 月下旬 緊急提言の取りまとめ

## <参考1> これまでの経過

- 9/25 (木) 東北電力海輪社長が定例記者会見で「受入保留の検討」発言
- 9/30 (火) 東北電力が「接続保留を決定。10/1 から実施」の発表
- 10/1 (水) 県議会意見書可決
- 10/3 (金) 経済産業省への平出議長要望
- 10/7 (火) 東北電力安倍副社長への知事要請
- 10/8 (水) 小淵経済産業大臣、竹下復興大臣への知事要望
- 10/9 (木) 東北電力が発電事業者対象の説明会を開催（福島市内）

## <参考2> 国の動き

- 9/30 (火) 総合資源エネルギー調査会新エネルギー小委員会（第4回）
  - 東北電力をはじめ北海道電力、九州電力、四国電力が系統接続回答を保留する旨を報告
- 10/15 (水) 総合資源エネルギー調査会新エネルギー小委員会（第5回）
  - 再エネ導入拡大に当たって直面する課題の整理など
- 10/16 (木) 総合資源エネルギー調査会新エネルギー小委員会系統ワーキンググループ（第1回）
  - 現状報告、接続可能量の算定方法等についての討議